

# 「看護学教育質向上委員会」

## 1. 構成員

### 1) 委員

委員長：吉沢豊子（関西国際大学）

副委員長：田高悦子（北海道大学大学院）

委員：落合亮太（筑波大学）、鎌倉やよい（日本看護系大学協議会）、川原千香子（帝京大学）、北川明（順天堂大学）、小池武嗣（聖隷クリストファー大学）、佐藤政枝（横浜市立大学）、飛田伊都子（大阪医科薬科大学）、中村博文（茨城県立医療大学）、南谷志野（日本赤十字豊田看護大学）、西村礼子（東京医療保健大学）、野島敬祐（京都橘大学）、布施淳子（山形大学）、益田美津美（国際医療福祉大学）、松田光信（大阪公立大学）、森田一三（日本赤十字豊田看護大学）、矢山壮（関西医科大学）

## 2. 趣旨

看護学教育質向上委員会は教育の質向上を目指し、参加型臨地実習を実現することを目的とした実習班、OSCEに焦点を当てたOSCE班、教育のDX化の推進のための取り組みを行うDX班の3班に分かれて活動を行ってきた。

令和7年度「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究（学士課程における看護学実習の充実のための調査研究）委託事業」に採択されたことを受けて、今年度は、事業1参加型臨地実習実現に向けた課題の調査とモデル開発を実習班が行い、事業2資質・能力の到達度に基づく臨地実習前後のCBT・OSCEを活用したコンピテンシー評価の事業2-2をOSCE班が、看護実践能力評価基準検討委員会のOSCE担当と協働で行った。DX班はホームページに掲載したDX Caféを運営することになった。

## 3. 活動経過

2025年度の実習班の活動について：

実習班は、鎌倉やよい（日本看護系大学協議会）、北川明（順天堂大学）、佐藤政枝（横浜市立大学）、飛田伊都子（大阪医科薬科大学）、南谷志野（日本赤十字豊田看護大学）、西村礼子（東京医療保健大学）、布施淳子（山形大学）、森田一三（日本赤十字豊田看護大学）、そして副委員長の田高悦子（北海道大学大学院）、委員長の吉沢豊子（関西国際大学）である。（敬称略）

3か年の1年目にあたり臨地実習の現状把握をするため、参加型臨地実習を妨げる要因・促進する要因を明らかにする調査を行った。

調査票の作成から着手し、対象大学およびその実習施設への調査票の発送、回収、分析と進めていった。特に分析では、量的分析担当者、質的分析担当者、スコアピングレビュー担当者を決め、進めていった。2025年度の成果物となる報告書は4月10日に提出する予定である。ここまでの会議回数は、2025年7月15日に第1回目を行い、合計17回実施した。

2025年度OSCE班の活動について：

OSCE班は、落合亮太（筑波大学）、川原千香子（帝京大学）、中村博文（茨城県立医療大学）、松田光信（大阪公立大学）（敬称略）である。OSCE班は、事業2-2のOSCEと臨地実習評価項目の特定の全国調査を大学および実習施設へ実施した。

2025 年度 DX 班の活動について：

DX 班は、小池武嗣（聖隷クリストファー大学）、野島敬祐（京都橘大学）、益田美津美（国際医療福祉大学）、矢山壮（関西医科大学）（敬称略）である。

2023 年に看護学教育 DX Café を立ち上げ、2025 年 3 月「看護学教育 DX 化で学習効果・効率を UP する-JANPU DX Café オープン！-」を開催した。2025 年度には DX コンテンツ「CG(コンピュータグラフィックス)の活用について 導入編」がアップしたことにとどまっており、休止状態になっている。

#### 4. 今後の課題

2025 年度は休止状態であった DX Café を活発化していく。

#### 5. 資料

なし